

# News Letter

## 医療安全5S

医療安全管理室

横山 理恵

去る十月二十三日、ベージック・マネジメント研究所の高原昭男先生をお招きして、医療安全研修会「見える化」する医療安全5S」が開催されました。

院内から六十八名、院外から百十名の医師・看護師・薬剤師・介護福祉士・事務・検査技師・栄養士・看護助手・保育士など多数の職種から参加を頂きました。

今回のテーマである「5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）」は産業界では、早くから取り入れられていたもので、「5S活動」により仕事のミスを減らし、様々なムダを削減していると言われております。このことから、最近では医療界においても医療事故防止の基盤となるものとして関心が寄せられています。社会的にも医療安全に対する意識が高まり、医療事故防止への取り組みが積極的に行

なわれておりますが、同じ種類の医療事故が繰り返されている現状にあります。その背景は様々ですが、異常が見える環境整備をすることが、医療安全の基本ではないかと考えられます。

そこで、「5S」について簡単に説明したいと思っております。「整理」とは、必要なものと不要な物を分け、不要な物は捨てること

「整頓」とは、必要な物がすぐに取り出せるように、置き場所、置き方を決め、表示を確実に行うこと

「清掃」とは、掃除をしてゴミ、汚れのないきれいな状態にすると同時に、細部まで点検すること

「清潔」とは、整理・整頓・清掃を徹底して実行し、汚れのないきれいな状態を維持すること  
「しつけ」とは、決められたことを、決められたとおりに実行できるように習慣付けることです。

改めて身の回りをみると、「5S」が出来ていないことが良く分かります。



講演前には、高原先生と一緒に院内のラウンドを行ないました。主に病棟を中心に廻りましたが、「えっ」という驚きと笑いの連続でした。

講演は主に整理・整頓を中心に進めていただき、ラウンドでの当院の写真を見ながら説明して下さいました。その中から、何点か御紹介したいと思います。どの部署でも一番多かったのが、

①「キャビネットの上に物を置いてある」でした。置いている物は、使用しないものが多いと思うので、本当に必要なものなのか検討しなくてはいいけません。また掃除もしにくくホコリがたまる原因にもなります。

②表示方法（ケースやファイル）がバラバラで見え難い（探し難い）のはテプラの色や字体が違う為であり、白地に黒でゴシック体が見えやすいので統一した方が良いでしょう。また、古いテプラの剥した跡が残っていて汚く見える点については、「クリーナー30」というもので、キレイに取れるそうです。改善することによって、見た目にもバランスがよく、元の位置に物を戻しやすくなりま

す。

③コードが乱雑に床に置かれて  
いる点は、コードを配線クリッ  
プなど活用して、机に取り付け  
たり、丸めてスッキリさせるこ  
とで、床上げができるので掃除  
しやすいし、ホコリがたまらな  
いので安全が確保されるそうデ  
す。

④水の跳ね上がりによる扉の劣  
化については、防水のテープな  
どで補強することで改善できる  
そうです。また壁の汚れは「スー  
パーネリー」というもので研磨  
してから透明の防水シートを貼  
るといいですとのアドバイスを  
頂きました。

その他、数多くの先生の視点  
でとらえた写真を頂きました。  
時間の都合上、全部門のラウン  
ドができず残念でしたが、頂い  
た写真は、各部門・部署にフィ  
ードバックしたいと思います。  
尚、一点だけ褒められた点が  
ありました。東5病棟の「クリ  
ニカルパス」のケースの中でし  
た。

「計十枚」という表示のケー  
スで、枚数をめくってみると、途  
中で仕切りがあり、「残二枚、

補充してください」の表示をし  
ていた点でした。“なるほど”  
と思い、5Sの視点が分った気  
がしました。

「整理」「整頓」「清掃」「清  
潔」「しつけ」という当たり前  
の実践を、当たり前に実行する  
ことは簡単なようで、難しいも  
のだと思います。

是非、一人ひとりが5S活動  
を行うことにより、安全な環境  
整備を行い、医療事故防止に繋  
げていって欲しいと思います。

### やさしい食生活

栄養科

『風邪は万病のもと』と言わ  
れています。風邪をひかないよ  
うにするためには、栄養を十分  
にとり、夜は早く寝て、体を疲  
れさせないように心がけること  
です。たかが『風邪』と思うの  
は間違いです。今年こそしっか  
り予防して元気に過ごしましょ  
う。



【風邪予防に役立つ栄養素】  
○ビタミンA（皮膚や喉の粘膜  
を丈夫にします。）  
カボチャ、ピーマン、ほうれ  
ん草、人参

○ビタミンC（寒さに対する抵  
抗力を強くします。）  
みかん、レモン、キャベツ、  
さつまいも

○タンパク質（寒さで消耗した  
体力を回復させます。）  
魚、肉、卵、豆腐、牛乳

○脂肪（外の寒さに体温を奪わ  
れないようにします。）  
油、マーガリン、バター

### ほうれん草の塩味炒め

今回は、ほうれん草を使った  
レシピを紹介します。

☆材料（4人分）

ほうれん草…1束

玉ねぎ …1/2個

ささみ …小4本

酒・水 …各大さじ1

酒 …大さじ1

塩・こしょう…少々

A…酒小さじ2、塩小さじ1/4  
こしょう少々、片栗粉小さじ1

☆作り方

①フライパンに油をひいて、ざ  
く切りのほうれん草をさっと炒  
め、油がまわったら酒と水各大  
さじ1を振り、ややしんなりし  
たら、ざるに上げて、水気をよ  
くきる。

②ささみは、そぎ切りにしてA  
で下味をつける。

③玉ねぎは5mm幅に切る。

④油大さじ1.5でささみを炒め、  
色が変わったら、玉ねぎ・ほう  
れん草を順に加えて、酒大さじ  
1と塩、こしょう各少々を振っ  
て炒め合わせる。

\*ほうれん草はビタミン・ミネ  
ラルが豊富。油で炒めるとβカ  
ロテンの吸収がよくなります。  
\*ささみは肥満の方や血液中の  
脂質の高い方にもお勧め食材で  
す。

あっさり味で食がすすみます。  
是非作ってみてください。



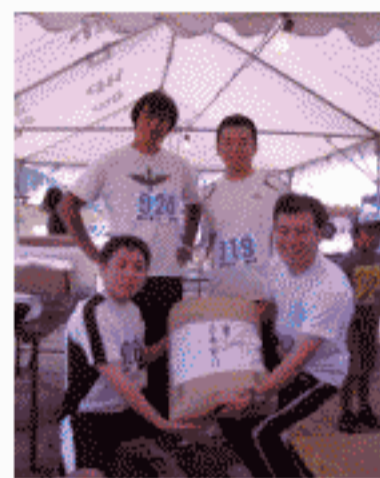


## こんびら男の称号は？

臨床検査科 中村 寿治

十月十一日開催の宿毛祭りの行事として、今年で四回目となる「こんびら男」に出場してきました。参加したのは当院ランニングクラブ最速？四人組（薬局、放射線、検査、内視鏡）です。こんびら男とはお祭り会場から金比羅宮までの山道を一気に駆け上がり、一番にたどり着いた人に「こんびら男」の称号が与えられるというありがたい行事です。いざ競争が始まってみると、最初こそ、勢いよく飛び出したものの、山道に入ると沿道からの声援もなくなり、予想よりもはるかに急な山道に走る気力もどこへやら、足をひきずってなんとか金比羅宮へたどり着きました。

最高順位が十一位という結果に終わり、残念ながらこんびら男になれませんでした。来年こそはと金比羅宮で誓った四人でした。



当院ランニングクラブ最速？  
の四人組★

## パン

編集スタッフ

「パン」は偶然の産物です。紀元前六千年頃に「パン」の原料となる小麦の栽培がメソポタミア文明（現在のイラク周辺）ではじまったと言われています。はじめ、小麦を粒のまま食べていた人々は、それを石の上ですりつぶし、水を混ぜて、お粥のようにして食べるようになりました。ある時、太陽でジリジリに熱された石の上にそのお粥が落ちてパリパリに焼けてしまいました。これが「パン」の原型となったといわれています。紀元前四千年頃には「パン」はエ

ジプトに伝わっていきます。エジプトでは、太陽熱を使って焼くことから始まって、太陽熱を逃さず効率よく焼くために窯を考案し、次には火を焚いて焼くことを考えました。現在のような「発酵パン」は、紀元前三千年頃にこれもまた偶然生まれました。すりつぶした小麦を水でこねたものを焼かずにそのまま置いていたところ、腐ったように泡をふき膨らんでいました。それを焼いてみたところ、今までより香ばしく、やわらか度おいしかったのです。これが「発酵パン」のはじまりです。

日本には、戦国時代にポルトガル人によって伝来したと言われています。その後、キリスト教とともに「パン」が普及しました。しかし、キリスト教が禁止されてからは、長崎などで西洋人のために細々と作られていただけで、日本人が「パン」を食べたという記録はほとんど残っていません。日本人が初めて自分たちのために「パン」を焼くことになるのはアヘン戦争がきっかけでした。アヘン戦争は、英国（イギリス）と清国（中国）

の戦争ですが、日本は英国の脅威を感じ、兵糧として携帯に便利な「パン」を作ることを考えました。これを考えたのは、当時、伊豆斐山の代官だった「江戸川太郎左衛門」でした。江戸川は私邸で初めてパン窯を造り、大規模に「パン」の試作を行いました。はじめて日本人が日本人のために作った「パン」ということで、江戸川は「パンの祖」と言われています。

今では、街には焼きたての良い香りが漂うパン屋さんがたくさんあり、色々な種類の「パン」が簡単に手にはいります。家庭でも簡単に「パン」が焼けるような調理機器もあるし、いつでもおいしい「パン」を食べることができます。しかし、そんな当たり前に入っている「パン」は、はるか昔の先人たちが生きるために「知恵」と「努力」と「勇氣」で作り上げたものです。

あたりまえにある物もルーツを調べてみると、今までと少し違って見えるかもしれません。





## 病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

医療機関を受診される際は、**お薬の内容が分かるもの(薬剤情報提供書・お薬手帳など)**を持って行くようにしましょう!

## 私たちの目指す医療(基本方針)

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

## 新型インフルエンザ ワクチン接種について

新型インフルエンザワクチン接種についてお知らせいたします。

### 【当院で接種可能な方】

- ・入院患者さん
- ・定期的に通院されている方

※右の要件に該当されない方は、優先接種者で全ての方を受付している医療機関でワクチン接種をするようお願いいたします。

当院では県から発表される予定に基づき、ワクチン接種を開始致します。

【県内のワクチン優先接種予定】	
持病がある入院患者	11月2日
透析患者	11月2日
難病の子ども	11月2日
基礎疾患(最優先)	11月16日
妊婦	11月16日
基礎疾患(その他)	12月4日
乳幼児(1~6歳)	12月4日
小学1~3年生	12月17日

※詳細は健康づくり課又は各保健所へお問い合わせ下さい。

## 停電のお知らせ

平成二十一年十一月十五日(日)午後一時から午後三時まで、電気設備の定期点検に伴い停電があります。

停電中はほとんどの検査を行うことができませんので、急なけがや病気で救急外来を受診しなければならなくなった場合はご了承ください。

また、午後一時から午後三時まで、エレベーターが停止しますので、病棟への上り下りは階段になります。お見舞いはこの時間帯をさけてお越しいただくことをおすすめします。

その他にも照明を間引くため館内が薄暗くなったり、自動ドアが手動になるなど、ご迷惑をおかけしますが、年一回の法定点検ですのでご了承ください。よろしくお願ひします。



## 9月の統計

外来患者数	12,037人
新外来患者数	1,904人
紹介患者数	336人
新入院患者数	476人
退院患者数	505人
平均在院日数	13.58日
救急車・時間外患者数	1,597人
手術件数	190件

## 幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。